



鎌ヶ谷市国際交流協会広報誌

第69号

2010年(平成22年)10月8日
発行: 鎌ヶ谷市国際交流協会
〒273-0195 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷2-6-1
TEL 047-445-1141 (内550)
FAX 047-441-9400
<http://www.kifa.gr.jp>

「ワタシ、KIFAでニホン語を学んでいます」

KIFA日本語講座、和やかに新スタート



①ボランティアも一緒に全員集合! ②隣のテーブルへ行って自己紹介 ③徹底的に反復練習します。

「日本語を覚えて友だちをつくろう!」「日本語を話して仕事も生活も楽しく!」。これをモットーに、来日間もない在住外国人に日本語を指導しているKIFA日本語講座。9月8日、6か月の準備期間を経て、新しい体制とシステムで再出発の船出をしました。

当日の午後7時過ぎ、つぎつぎと新しい外国人受講生が会場の中央公民館3階学習室にやってきました。中国(2人)、韓国、フィリピン、ロシア、アメリカの5か国6人でスタートしました(その後3人増)。それぞれに仕事や結婚により日本に来たそうですが、多くは日本語初心者、最初は緊張していますが、学習意欲は満々のようです。

彼女たちを教えるKIFA日本語ボランティアは8人。受講生のレベルに応じた、少人数グループ制のシステムで、熱のこもった指導を始めました。

ぜひ日本の生活に役立てて

「ワタシの名前は××デス」「アナタは日本人デスカ?」「コレはクルマデス」「コレもクルマデスカ?」

初歩的な日本語のフレーズを、徹底的に反復します。ある程度、会話に慣れ親しんでくると、隣のテーブルま

で出かけて、日本的作法のお辞儀も教わり、実践的な生きた日本語会話を少しずつ使えるようになりました。受講生の表情からも手ごたえを感じる微笑みが浮かびます。こうして新しいKIFA日本語講座は和やかに、穏やかに、滑り出しました。

この講座を管轄する研修部会の飯田文夫部会長は、「研修部会一丸となって、この日のために準備してきました。指導する日本語ボランティアも熱心だし、頭が下がります。受講生もぜひKIFAで学習したことを日本の生活に役立ててください」と意気込みを語りました。

KIFA日本語講座は初めての外国人も安心して学べる日本語学習講座です。

※鎌ヶ谷市国際交流協会(KIFA)が主催する当講座はボランティアが日本語を短期集中指導しています。

場所・中央公民館(新京成・初富駅そば)

日時・12月8日までの毎水曜日(11/3、11/24は除く) 19:20~20:50

12月以降の募集は12月中旬に行います。

申し込み・KIFA事務局 Tel.047-445-1141 (550)
(受講料、テキスト代なども問い合わせ下さい)

感動いっぱい! 若い芽の異文化体験

2010夏

KIFA青少年ワカタネロングステイ 鎌ヶ谷高校交換留学生派遣報告会

人と人のつながりが、とても濃かったです——6人の「若い芽」は、日本の日常とは違った異文化体験を感動に満ちて話しました。2010年度・KIFA青少年ワカタネロングステイ、鎌ヶ谷高校交換留学生派遣報告会（青少年委員会担当）が、清水聖士市長、皆川征夫教育委員会委員長、川西八郎教育長はじめ多くの来賓、保護者が出席して8月29日（日）、まなびいプラザで開かれました。

主催者の茂野昭KIFA会長から、「自分を磨く貴重な体験をされたと思います。これからの人生にきっと役立つでしょう」と励ましのあいさつ。来賓を代表して清水聖士市長から「今回の体験がご自身の将来と、世界との関係に資するものとしていただきたい」と国際交流実践者としての成長に期待を寄せるメッセージがありました。

7月28日（水）に成田空港を出発、姉妹都市・ニュージーランドのワカタネで、ホームステイをしながら1カ月、トライデント高校に通い英語学習と生活体験。8月



6人の高校生と清水市長（左端）、報告会であいさつする茂野会長。

24日（火）に帰国したばかりの6人の高校生（石井未比呂さん・1年、小田原実夏さん・2年、小林篤史くん・2年、駒崎達也くん・1年、村上千尋さん・2年、笹川めぐみさん・2年＝交換留学生）は、ホストファミリーの濃い家族関係に接し、改めて家族の絆を再認識したこと、友だち同士のフランクなつきあい方に、喜びを感じたこと、そして街も店も親切で、あいさつとコミュニケーションがうれしかったと、感動と新たな発見の1カ月を話し、出席者に感銘を与えてくれました。



ペンキの入ったカプセルを撃ち合う「ペイントボール」は面白かった。みんないい友だちになりました。

●ワカタネの友だち、ありがとう!!

***石井さん**——ワカタネの人たちはとってもフレンドリーでした。私が道を歩いていると「Hello!」と声をかけてくれました。レジでも、知らない人同士が軽くお話しする姿をたくさん見ました。家でも学校でも、人々の温かさに触れられるのはそんなに簡単なことではないと思っていました。だけど、ニュージーランドでは簡単に触れられました。



***小田原さん**——私が一番努力したことは、たくさん話すことでした。気になったことは、どんどん聞きました。生活してみなければ分らない文化の違いや、生活の仕方の違いを知ることもできました。初めて海釣りに連れて行ってもらいました。鯛のような魚がたくさん釣れました。ホストファミリーが撮った私の写真が地元の新聞にも載りました。



***小林くん**——私はニュージーランドで起きたことの数だけ、いろいろなことを学びました。ロッククライミングをして学んだことは、諦めない心を持ち続けることです。最初は三分の一も登れませんでした。隣で登っている人を見て、自分も頑張ろうと思い「あともう少し」と言い聞かせて、最後まで登ることができました。



***駒崎くん**——友だちもたくさんできて、みな親切でやさしかったです。今回の外国生活の経験は、これからの僕にとって大きな自信になりました。さらに将来の夢、あまり定かでなかった僕に夢をくれた、いい機会になりました。英語に対する意欲も湧きました。これからの高校生活に生かせるように心がけていきたいです。一カ月は短かったです。



***笹川さん**——今回の旅で得たもの、それは数え切れないほどのたくさんの経験と、多くの人との出会い、そして別れ、人間関係の大切さです。別れの日に流したみんなの涙は素晴らしい思い出でした。人を愛する心が込められていたと思います。私は絶対に忘れません。そしてそこには、英語がもっと好きになった私がありました。



***村上千尋さん**——初めのころは友だち同士の会話が早く、まったく聞き取ることができなかったが、時間が経つにつれ、自分から話を振ることができるようにもなりました。私がキョロキョロしているとすぐに誰かが「どうしたの?」と、話しかけてくれました。言葉が通じなくても、絵を描いたり顔芸をしたりと、コミュニケーションをとることができました。



（紙幅の都合で要約しました。KIFAのHPに全文の要約掲載します。）

KIFA活動を魅力的にするために

新執行部 精力的に活動 —7法人会員が新たに加入—

5月に茂野昭氏を会長としてスタートした新執行部は、精力的に活動を始めています。まず、最近低迷しているKIFA会員の増加を目指し、新たに7社の法人会員が協会事業の展開にご尽力して下さることになりました。また、KIFAを構成している2部会、2委員会のメンバーと、現在の問題点、今後のKIFAのあり方、等について積極的に意見交換を行いました。この猛暑の中、青少年委員会（5月23日）、研修部会（7月1日）、交流部会（8月8日）広報委員会（8月29日）の順です。

活発な意見が出され、①KIFAも高齢化の問題に直面している。若い世代を育てるにはどうしたらよいか、②会員を増やしたいが、KIFA活動に魅力がないと長続きしない。そのための工夫が必要、③KIFAも23年経った今、マンネリ化したところもあり、事業全般を見直す必要がある、④行政との定期的な意見交換の場も必要ではないか、等々、重い懸案が話題に上りました。こうした意見交換の結果を受け、今後執行部が各部門の企画の見直し、改革の必要性について検証していくときではないでしょうか。

KIFAをバックアップする法人会員、 参加事業者が急増しています

＊4月以降、次の7社の法人が加入されました。

- ・私市醸造(株) (監事)
- ・ニッポー(株) (監事)
- ・森はり灸治療院
- ・(株)エスティフーズ
- ・(株)仁陣

- ・(医)爽歯会 みちのべ歯科医院
- ・(株)東京パッキング

＊これまでご協力をいただいている法人会員のみなさん
・茂野製麺(株)・東葛食品(株)・親和設備(株)・(有)岡田産業・皆川不動産(有)・(株)永井建設・那須設計工務(株)・鎌ヶ谷造園土木(株)・学校法人 一色学園・(株)千葉銀行鎌ヶ谷支店・鎌ヶ谷梨ワインブランデー(株)・(株)アメリカンランゲージスクール鎌ヶ谷校

なお一層の活動発展のために、鎌ヶ谷市国際交流協会をご理解いただき、ご参加くださる企業・団体等を求めています。ますます国際化する当市の異文化交流事業にご協力をお願いします。年会費は1万円

◆法人会員のメリット

- ・社員の皆さんは、有料のイベント事業に、会員参加費で参加していただけます。（1事業5人まで）
- ・会報誌「KIFAplaza」（年4回発行）で加入を紹介します。会報誌は市内の公共施設に掲示、各自治会で班回覧（年2回）されます。

◆問い合わせ・申し込み

- ・市役所3階の協会事務局（9時から16時）に申し込み等の書類が用意してあります。ご連絡いただければご案内します。

電話：047・445・1141（内線550）

Fax：047・441・9400

茂野会長が食品産業功労賞受賞

茂野会長が、全国乾麺協同組合連合会長として活躍される中、「乾麺産業振興普及及び貢献、和食文化地域活性化貢献、業界全国団体等進捗貢献」の多岐にわたる功労に対し第43回（平成22年度）食品産業功労賞を生産部門で受賞されました。

第2回「英会話サロン」のお知らせ

外国人のゲストを囲み、お茶を飲みながら英語で楽しく語り合う「英会話サロン」（研修部会担当）の第2回の集いを、下記のように開催します。

外国の生活や文化に関心がある方、生の英語に接したい方、是非ご参加下さい。

- ＊10月17日（日）午後1時受付。1時20分～4時。
- ＊まなびいプラザ3F研修室I
- ＊参加費KIFA会員800円 非会員1,000円
- ＊定員30人（申し込み先着順）
- ＊申し込みは鎌ヶ谷市国際交流協会（KIFA）事務局（平日9:00～16:00）445-1141

「ピーターラビット」もテーマ・第1回サロン

2010年度の第1回「英会話サロン」が6月20日（日）、



中央公民館第1学習室で開かれました。

今回も3人のゲストスピーカーが選んだテーマと参加市民による英会話を楽しみました。

今回のゲストとテーマは、Mr.Derek Smith (Canada) は「携帯電話は必要悪じゃない？」所有していないのはデレックさんだけでした。Mr.Alexander May (UK) は「ピーターラビットの故郷の作家ビアトリクス・ポーターとピーターラビットについて」。Mr.James Chenery (UK) は「英国式アフタヌーンティーの由来」。それぞれ5分間のスピーチに続いて、3グループに分かれて40分くらい3つのテーマについて、話が弾んでいました。

「3年B組金八先生」の生みの親 小山内美江子さん講演会のご案内 ＜愛を育てる＞金八先生から世界へ

* 講師プロフィール＝1930年横浜市生まれ、脚本家、熱海国際交流協会会長。

* 代表作品＝TBSドラマ「3年B組金八先生」、NHK大河ドラマ「翔ぶが如く」、朝の連続ドラマ「マー姉ちゃん」など多数

* 最近の活動＝1990年湾岸戦争の直前にヨルダンの難民キャンプでボランティア。1993年に「JHP・学校をつくる会」を設立、カンボジアで国際協力活動を行っている。



* 日時 10月31日(日) 14:00～15:30 受付13:30

* 会場 東部学習センター レインボーホール

* 定員 200名(当日先着順) 無料

* 問い合わせ先：鎌ケ谷市国際交流協会(KIFA) 事務局

* 電話：445-1141 (550) 月～金 9:00～16:00

いろいろな国の言葉を楽しみました 保護者も一緒に、子どもたちの国際交流

親子で楽しく国際交流をめざす親子交流会(青少年委員会担当)が7月24日(日)、中央公民館で開かれました。外国人親子が9人、日本人親子など29人が参加して、楽しい夏休みの半日を過ごしました。

まず、からだを動かしてウォーミングアップ! 「If you're happy!」をみんなで歌いながら踊ります。

子どもたちが集中したところで、中国語(張さん)、韓国語(都さん)、ドイツ語(アネッテさん)、タガログ語(ジェンマさん)が、それぞれのお国の言葉で「こんにちは!」のあいさつです。みんなで復唱します。

続いて大きな絵本「10 Little Monkeys」の登場です。アネッテさんが英語で読んで、続いて張さんが中国語で読みます。子どもたちが絵本の「Monkey」に合わせてジャンプしたり、ベッドから落ちる動作をします。参加したお母さんはMammy役、お父さんもDoctor役で大活躍です。

読み聞かせの後には、いよいよ各国語でクイズと伝言ゲームです。2チームに別れて点数を競います。中国語

KIFAパーティに参加しよう

* 今年のテーマは「和の心」です

* 日 時：12月12日(日) 受付開始：13時～
13時30分開場、～15時30分

* 会 場：市総合福祉保健センター(6階)

* 内 容：軽食、ゲーム、ブースなど

* 参加費：会員(内)は非会員の参加費

一 般：1,000円(1,500円)

大学生、高校生、中学生：500円(700円)

小学生：300円(500円)＝幼児は無料

(注) 表記は前売り券の金額です。

当日券は500円増しになります。

* 申し込み：

12月3日(金)までに鎌ケ谷市国際交流会事務局(市役所3階)へ。あるいはKIFA会員を通じてチケットをお求め下さい。

で「手紙」は?—
額・手紙・トイレッ
トペーパーの絵カー
ドが示され、さてど
れでしょうか? 答
えはトイレッペー
パーでした。



いろいろな国の言葉で遊びました

日本語と似た発音でも意味がまったく違う言葉、反対に日本語とまったく同じ発音・意味の言葉があり、驚いたり笑ったり。参加した大人も子どもも、言葉の「音と意味」を楽しみました。

◎国際感覚を身につけるひととき

小学校2年生の娘と一緒に、韓国人の参加者として参加しました。言葉の伝言ゲームをしたり、各国の言葉を問題に出して、何の意味か答えるゲームなどを親子で楽しみました。いつの間にか会場は緊張が解け、笑顔でいっぱい。楽しいひとときを過ごしました。さまざまな国籍の親子が集まって、その国の言葉を体験しながら、親子のふれ合いはもちろんのこと、気楽に楽しく交流することにより、国際理解を深め、国際感覚を親子で身につけることができた貴重な時間でした。

編集後記

2010年度の「青少年ロングステイ、鎌ケ谷高校交換留学生派遣報告会」(2面)が行われました。6人の高校生たちは一様に、出会いと交流のすばらしさを述べていました。若者たちの海外派遣には、心配を伴うこともありますが、その成果はきっと将来に活かしてくれると思います。今年度から広報委員の仲間入りをし、2つの委員会で活動しながら、

世代の異なるメンバーとの出会いと交流を実感しています。お互いの立場を尊重し、理解を示し、協力し合いながらのボランティア活動。「ありがとう」「おつかれさま」「よろしく」が飛び交っています。まさにボランティア活動の原点を実感しています。参加者、ボランティア、双方が出会いと交流の素晴らしさを共有しあえば良いですね。(M・H)